

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

保険業務を通じて地域社会の一員として、よりよい社会づくりに貢献する。
また、働き手にはより幸せを追求することができる体制、環境を整備するとともに、客観性、透明性の高い、生活に密着したお客様に寄り添う企業を目指す。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に◎)	SDGsに関する重点的な取組み	指標
◎環境 ◎社会 ◎経済	地域への参画。 防災、減災、レジリエンス(共助)。 地域まちづくりの推進。	2018年より実施中の清掃活動を増やす。 月1回(2021年)→月2回(2023年)に増やす。 2015年より他事業者にBCP策定を提案実施。1社(2021年)→10社(2023年) 2016年熊本地震より液化化地区での復旧復興を推進してきた。2022年より、熊本地震からの復興へのまちづくり活動の地域のバックオフィスとしての役割を担う。
◎環境 ◎社会 ◎経済	年齢経験を問わない中途採用の実施。 社会に貢献できる専門性の高い人材育成に努める。他社出向制度を活用し、スキルアップにつなげる。 IOT、AI、ビックデータなど最新のテクノロジーを用いたイノベーション技術の導入に積極的に取り組む。	試験を経て更新性保有資格の維持。 スキルアップを目的とした他社出向人数を増やす。1人(2021年)→2人(2023年) AIを用いた無理無駄のない合理的な補償設計の数を増やす。50件(2021年)→500件(2023年)
◎環境 ◎社会 ◎経済	排出ごみの削減。 社員エコバックの導入を徹底し、プラスチックごみの排出削減に努める。また、プラスチック製品の購入をひかえる。 ペーパーレスの推進。業務の電子化を進める。取引先とのFAXのやり取りも極力メールで行う。	社内排出ごみを前年度より30%削減に取り組む。 複写紙の使用を前年度より30%削減に取り組む。

<パートナーシップ>

地域社会の安心・安全に向け保険代理店である自社と、地域の人々及び事業者との間に信頼関係を構築するとともに、企業内部においても、従業員一人ひとりの状況に応じ、働きやすい職場環境の整備を図る。

- ・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。

○ SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係る進捗状況(※更新の場合のみ)

- 登録状況:第 期登録(登録年月日: 年 月 日)
- 登録番号: 号

<SDGsに関する重点的な取組み状況、前期の指標及び実績>

三側面 (分野に◎)	取組みの状況	前期の指標	実績
○環境 ○社会 ○経済			
○環境 ○社会 ○経済			
○環境 ○社会 ○経済			

・「登録状況」及び「登録番号」を記載してください。

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。